宮崎港

県都宮崎市に位置する宮崎港は、フェリー輸送による内貿貨物を中心に港湾取扱貨物量が県内一を誇る港です。
戦後、高度経済成長により宮崎市の経済・文化が発展するに伴い港湾整備が強く望まれた宮崎港は、昭和48年４月に重要港湾の指定を受け、以後、本格的な港湾整備を進めてきました。
本港は南九州における物流拠点の内貿ユニットロードに対応できる岸壁の整備、流通機能の充実および海洋性リゾートの核なる21世紀の港づくりを目指していきます。

宮崎港の概要

◎所在地	宮崎市
◎港湾区域告示	昭和38年6月
◎港湾区域面積	1,983ha
◎重要港湾指定	昭和48年4月
◎入港船舶数	2,804隻(R6)
◎入港船舶総トン数	6,682千トン(R6)
◎取扱貨物量	7,725千トン(R6)
	〔うち外貨物83千トン〕

●宮崎港からの定期航路ネットワーク



【令和７年４月時点】

●宮崎港からの新規航路



●係留施設（公共）

地区名		施設名	水深（m）	延長（m）	船型（D／W）	バース数	完成年度
既設	西	① 第１岸壁	−4.5	120	700	2	S44
		② 第２岸壁	−5.5	270	2,000	3	S46
		⑤ 第５岸壁	−7.5	260	5,000	2	S51
		⑦ 第７岸壁	−7.5	194	6,000(GT)	1	H1
		⑩ 第10岸壁	−9.0	198	10,000(GT)	1	H5
		⑪ 第11岸壁	−9.0	300	50,000(GT)	1	H8
	東	⑥ 第６岸壁	−4.5	420	700	7	S53
		⑨ 第９岸壁	−5.5	400	2,000	4	H6
		⑫ 第12岸壁	−7.5	390	5,000	3	H9
		⑬ 第13岸壁	−9.0	210	10,000	1	H10
計画	東	⑭ 第14岸壁	−9.0	160	10,000	1	
		⑮ 第15岸壁	−12.0	240	30,000	1	
		⑯ 第16岸壁	−9.0	320	10,000	2	

宮崎港港湾計画（平成15年３月改訂）

〇新たな外貿物流機能の強化
〇南九州地域の物流拠点として内貿ユニットロードターミナル機能の強化
〇既存ふ頭再編等によるふ頭の効率性、利便性等の向上
〇港内の静穏と船舶航行の安全性を確保
〇人々が港や海に親しめる親水空間の確保
〇背後地域との円滑な輸送体系の確保
〇漁船、遊漁船等の適切な収容を図るため小型船だまりの整備
〇安全で安心な港づくりを目指し耐震強化施設等の充実